

～「こどものとも 年中 向き」にこめられた思い～

「こどものとも年中向き」は、「こどものとも」の姉妹誌として、1968年4月にスタート。

当初は、「年少版こどものとも」あるいは「普及版こどものとも」と称していましたが、のちに、現在の「こどものとも年中向き」と改題しました。

子どもたちは年中児くらいになると、主人公にしっかり自分を重ねて、物語を楽しむことができるようになります。

そんな子どもたちに向けて、物語の入口になる絵本は、はたしてどのようなものが最適なのか。

この黎明期のオリジナル50作品(刊行順)には、たくさんの試行錯誤があると同時に、作家、編集者たちの熱い思いがこめられています。

